

食品ロス削減の推進について

■アンケートの趣旨

「食品ロス」とは、食べ残しや賞味期限切れなどまだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことで、農林水産省及び環境省推計値（平成30年度）によると、家庭やお店などから出る食品ロスは年間約600万トンにのぼり、1人1日当たりに換算すると、お茶碗約1杯（約130g）のご飯の量に相当します。

名古屋市では、食品ロスの削減を推進するために、家庭での食材の使いきりや料理の食べきりの推進、消費期限と賞味期限の正しい理解などの周知活動および10月の食品ロス削減月間での企画などに取り組んでいます。

このアンケートは、市民の皆さまの食品ロス削減に関する意識をおたずねし、今後の取り組みを検討する上での参考とさせていただきます。

■説明・前提条件

Q1：必須 ・選択数1つ	Q2：必須 ・選択制限なし	Q3：必須 ・選択数1つ	Q4：必須 ・選択制限なし
Q5：必須 ・選択数1つ	Q6：必須 ・選択制限なし	Q7：必須 ・選択数1つ	Q8：必須 ・選択数1つ
Q9：問8の選択による ・選択数1つ	Q10：問8の選択による ・選択数1つ	Q11：Q10の選択による ・選択数1つ	Q12：Q11の選択による ・選択制限なし
Q13：必須 ・選択数1つ	Q14：必須 ・選択制限なし	Q15：任意 ・自由記載	

- ▶ 年代・居住区・性別の属性は事前に登録されたモニターの属性から取得
- ▶ 比率はすべて、各質問の回答者数に対するパーセントで表し、小数点以下第2位を四捨五入して算出（このため、合計が100%にならないことがある）
- ▶ 複数回答が可能な質問については、各項目の比率の合計は通常100%を超える

■アンケート実施期間

令和3年11月19日（金） から 令和3年11月29日（月）まで

■モニター数・アンケート回答数

対象モニター数：500人 回答数：456人 有効回収率：91.2%

■問い合わせ先

調査テーマに関すること
環境局 資源化推進室

電話：052-972-2390 FAX：052-972-4133
E-Mail：a2297@kankyokyoku.city.nagoya.lg.jp

調査概要に関すること
スポーツ市民局 広聴課

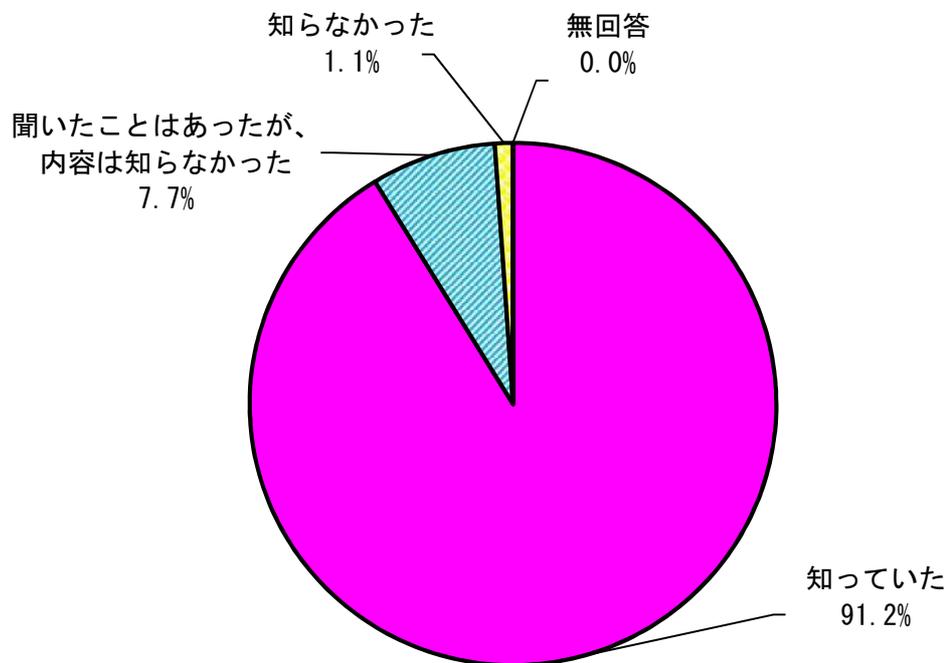
電話：052-972-3140 FAX：052-972-3164
E-Mail：net-moni01@sportsshimin.city.nagoya.lg.jp

回答集計

※各図表の「N」は、回答者数を表しています。

Q 1 【※必須】あなたは、食品ロスについて知っていましたか。(選択は1つ)

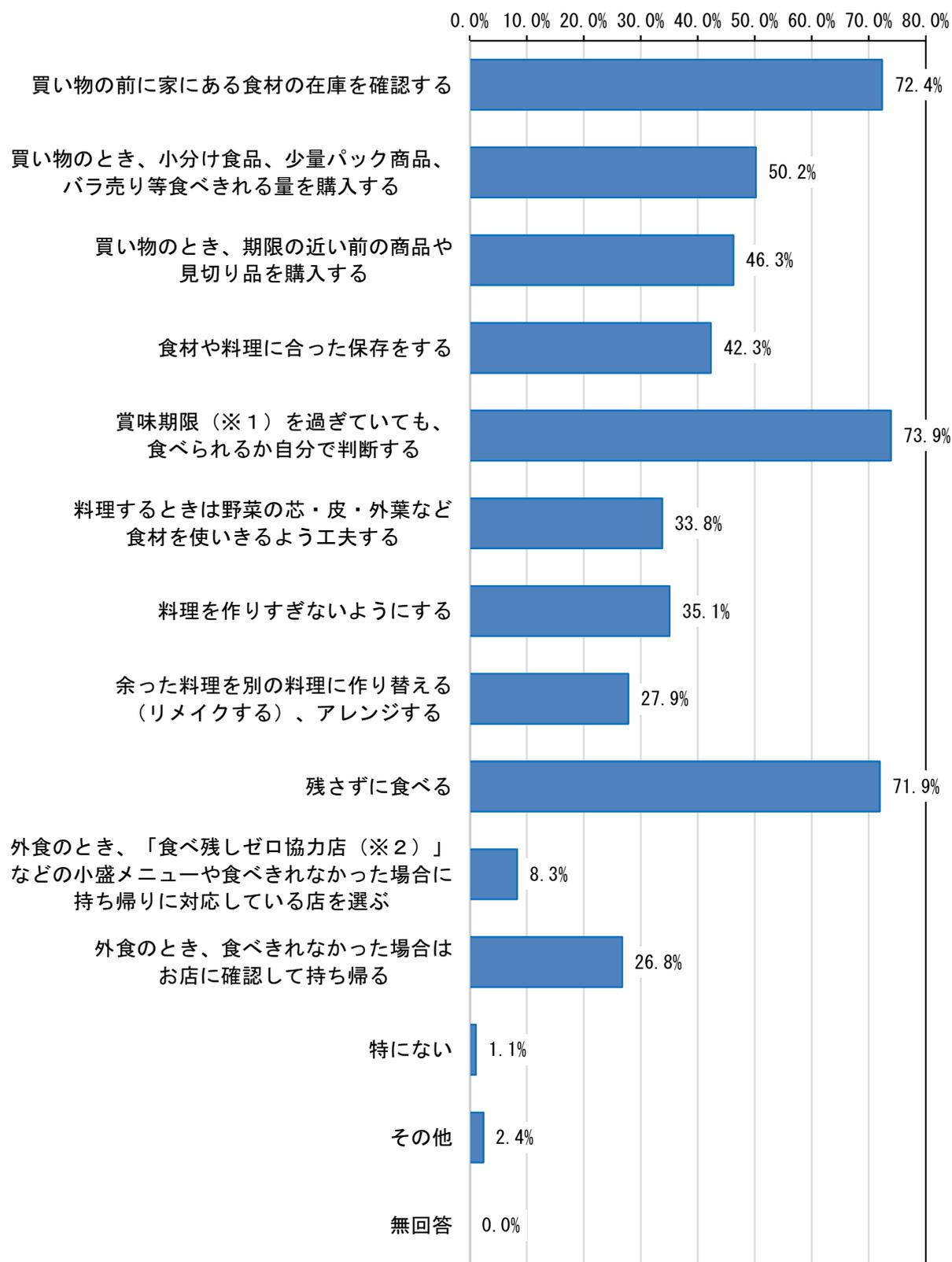
N = 456



私たちが普段何気なく行っている買い物前の食材の在庫チェック、食材に合った保存、料理をおいしく食べきる、外食時に食べきれる量を注文するなど、食に関するさまざまな場面のひと工夫が食品ロス削減につながります。

Q2【※必須】食に関する取り組みのうち、あなたが普段行っていることは何ですか。
(選択はいくつでも)

N=456

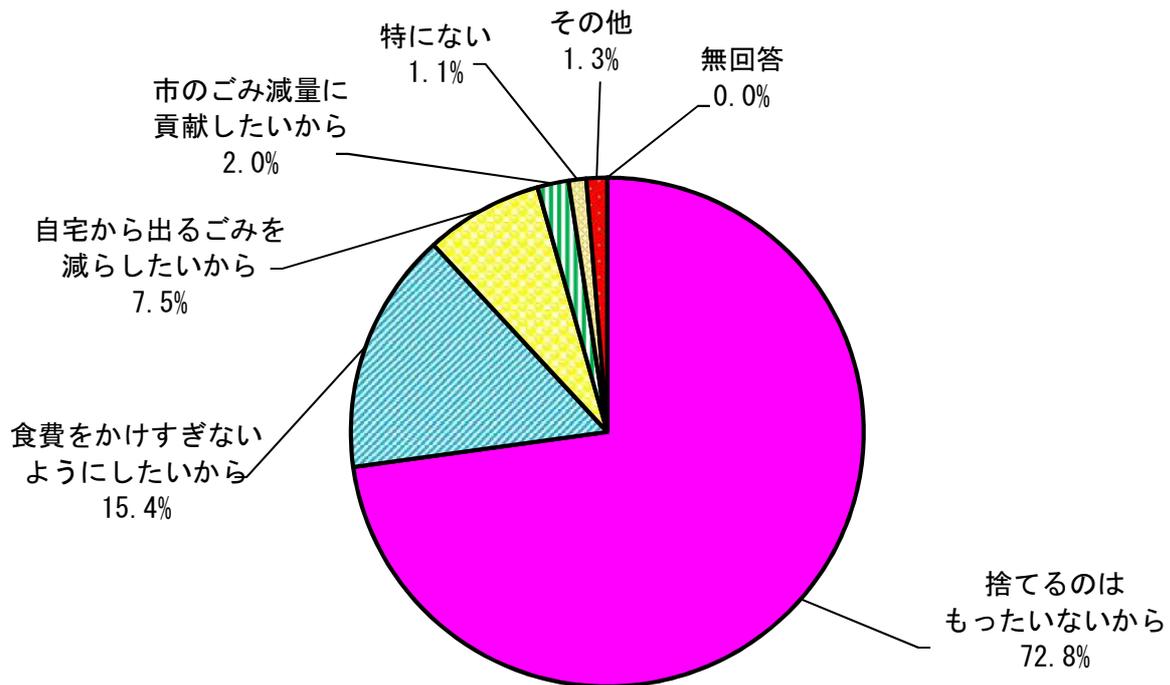


※1：賞味期限とは、開封していない状態で、表示されている保存方法に従って保存したときに、おいしく食べることができる期限のことで、この期限を過ぎても、すぐに食べられなくなるということではありません。

※2：本市では、食品ロス削減に取り組む市内の飲食店等を「食べ残しゼロ協力店」として登録し、専用ホームページに掲載し、利用を呼びかけています。

Q3【※必須】あなたが、食に関する取り組みを行っている主な理由は何ですか。
(選択は1つ)

N=456



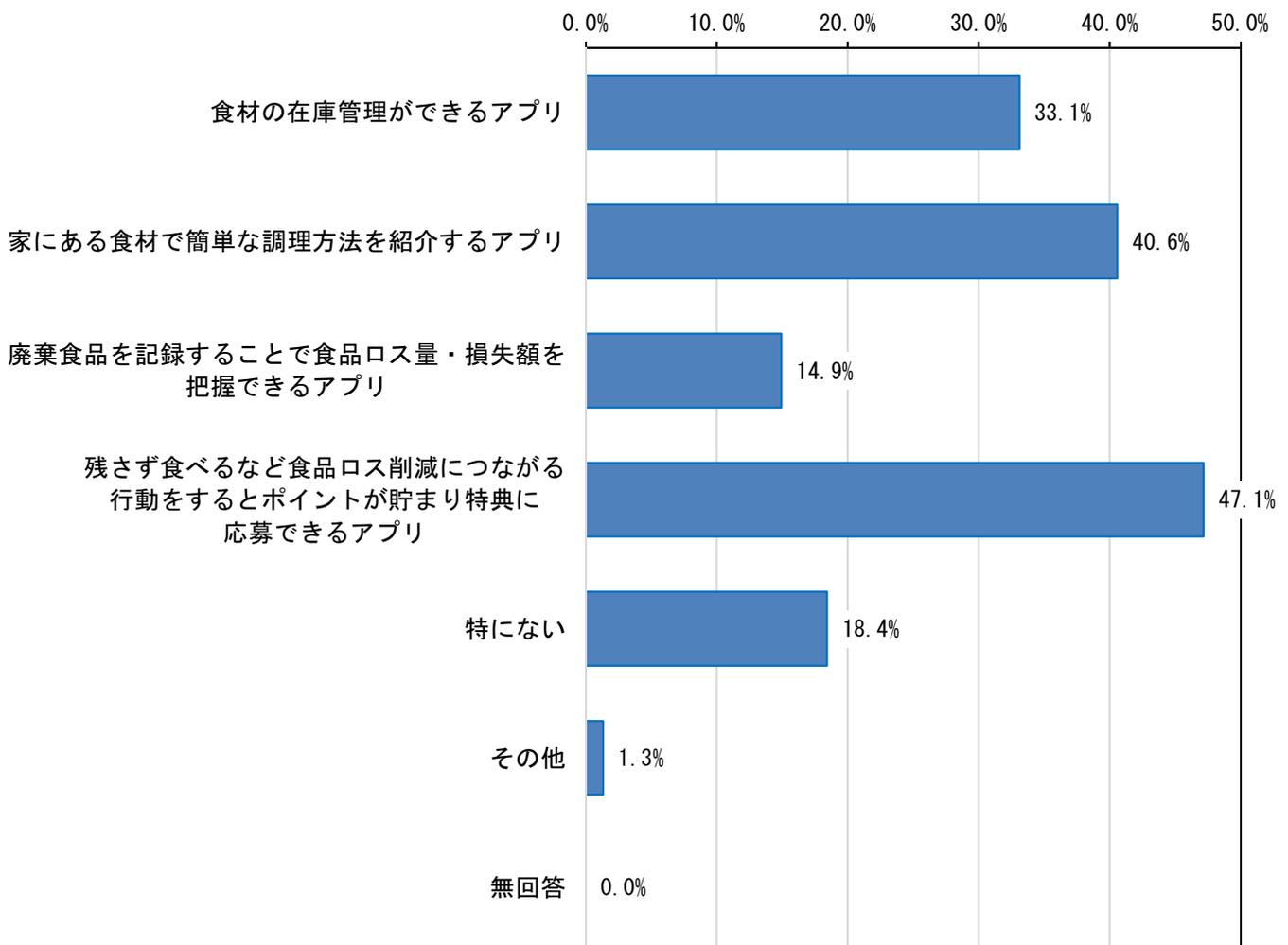
<家庭からの食品ロス削減について>

スマートフォンやタブレット等を利用して、食材の在庫管理などを行えるアプリケーションソフト（以下「アプリ」（※3）といいます）があります。アプリを利用することで、家庭からの食品ロス削減につなげることができます。本市の環境行動促進アプリ「なごっちゃ」では、環境にやさしい行動をすることでポイントを貯め、景品に応募できます。「食事を残さず食べる」「買い物の前に冷蔵庫の中をチェックする」などの行動で、それぞれ1ポイント貯まります。

※3：パソコンやスマートフォン、タブレットなどで特定の操作を行うことを目的に作られたソフトウェアのことで、ゲーム、計算、健康管理アプリなどがあります。

Q4【※必須】家庭からの食品ロス削減につながるアプリのうち、あなたが利用してみたいと思うものは何ですか。（選択はいくつでも）

N=456

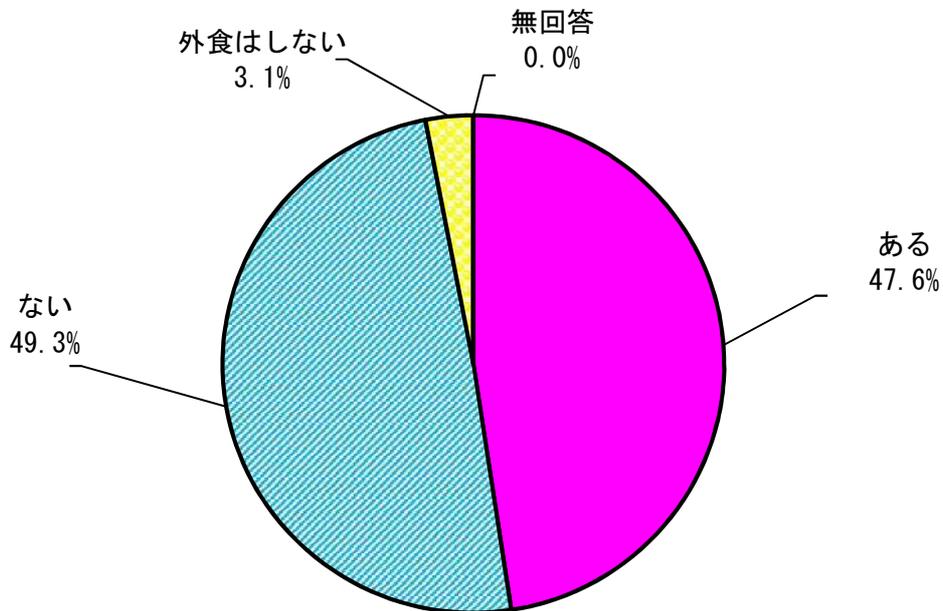


< 外食時の食品ロス削減について >

私たちが外食のときに食べ残したのも食品ロスです。食べきれる量を注文したり、食べ残したものを家に持ち帰ることで、食品ロス削減につながります。

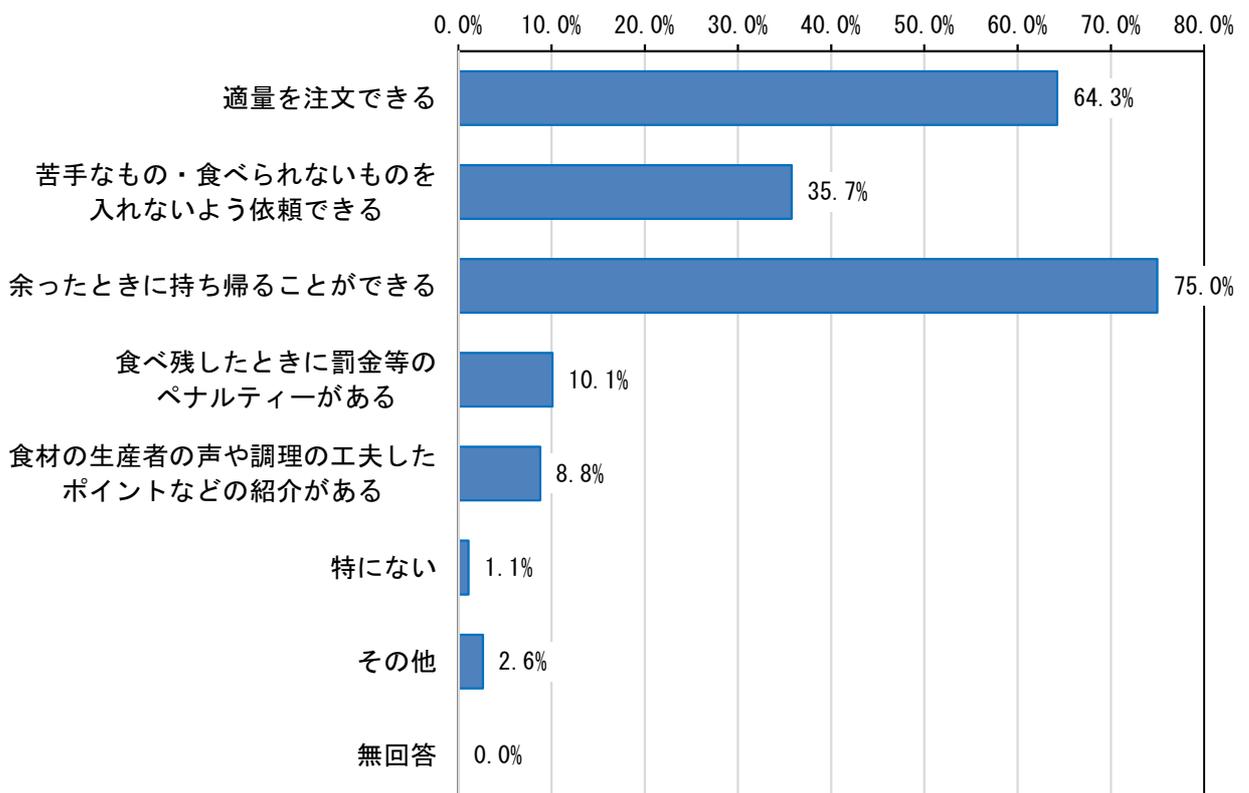
Q5【※必須】あなたは、外食のとき、食事を食べきれなかったことはありますか。
(選択は1つ)

N=456



Q6【※必須】あなたは、飲食店がどのような取り組みをしたら、外食のときの食べ残しの削減につながるとお考えですか。(選択はいくつでも)

N=456



<フードドライブについて>

「フードドライブ」とは、家庭にある手つかず食品を持ち寄り、まとめてフードバンク活動団体や福祉施設などに寄付する活動です。寄付された食品は、食を必要としている方に届けられます。

本市では、環境学習センター及びなごや生物多様性センターで、毎月8日から14日（休館日を除く）の午前9時30分から午後5時まで受付を行っています。フードドライブで集める食品には、①包装が破損していない、②生鮮食品以外、③冷蔵・冷凍食品以外、④瓶詰めの食品ではない、⑤未開封、⑥賞味期限が明記されており、またそれが1か月以上、といった条件があります。

民間団体等によるフードドライブも実施されています。

【参考資料】

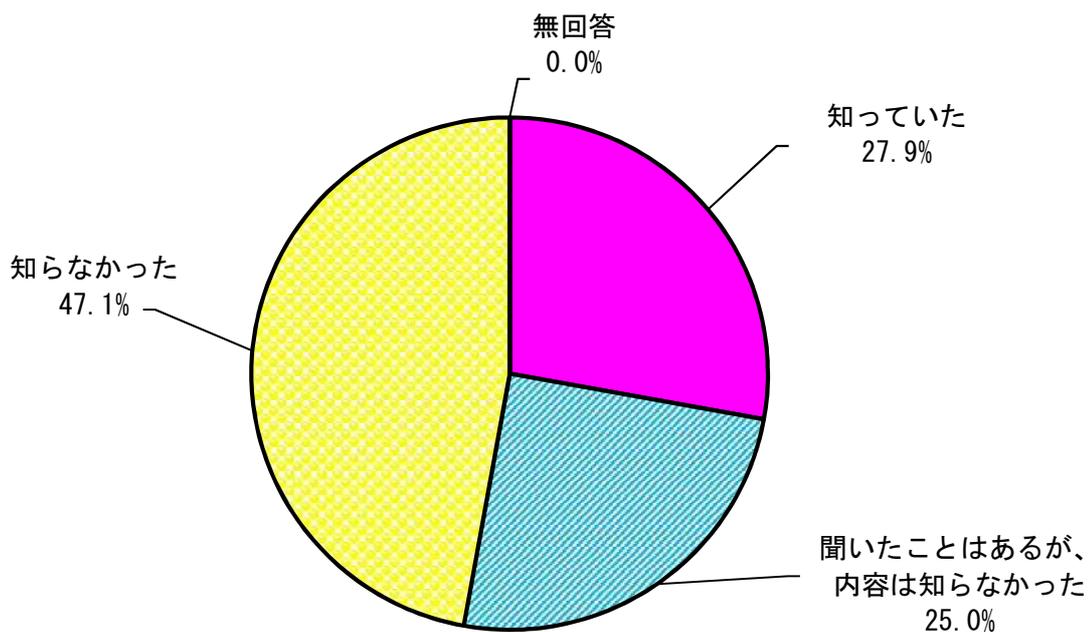
関連リンク： フードドライブ実施のお知らせ（名古屋市公式ウェブサイト）

<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000096920.html>

添付：フードドライブチラシ

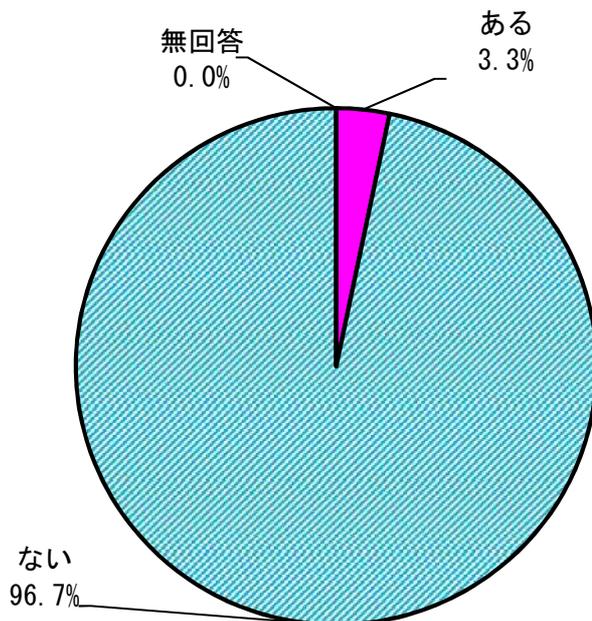
Q7 【※必須】あなたは、「フードドライブ」について知っていましたか。（選択は1つ）

N=456



Q 8 【※必須】あなたは、フードドライブに参加したことがありますか。
(選択は1つ)

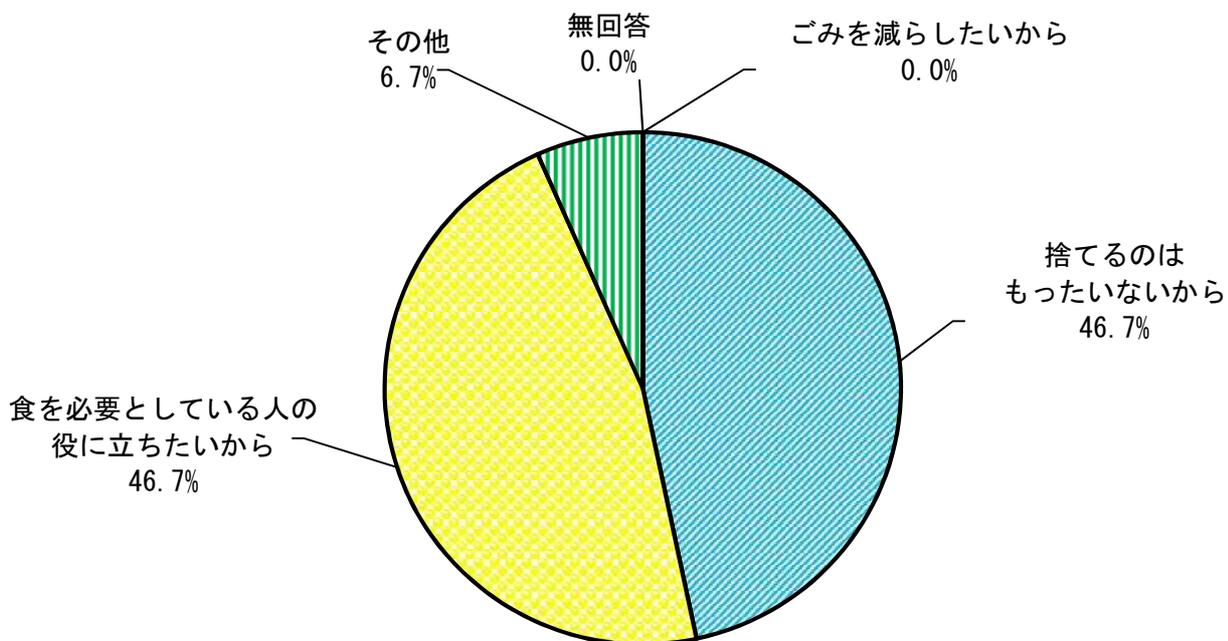
N=456



【Q 9はQ 8で、フードドライブに参加したことがあると答えた方（「ある」と回答した方）におたずねします。】

Q 9 あなたがフードドライブに参加した主な理由は何ですか。(選択は1つ)

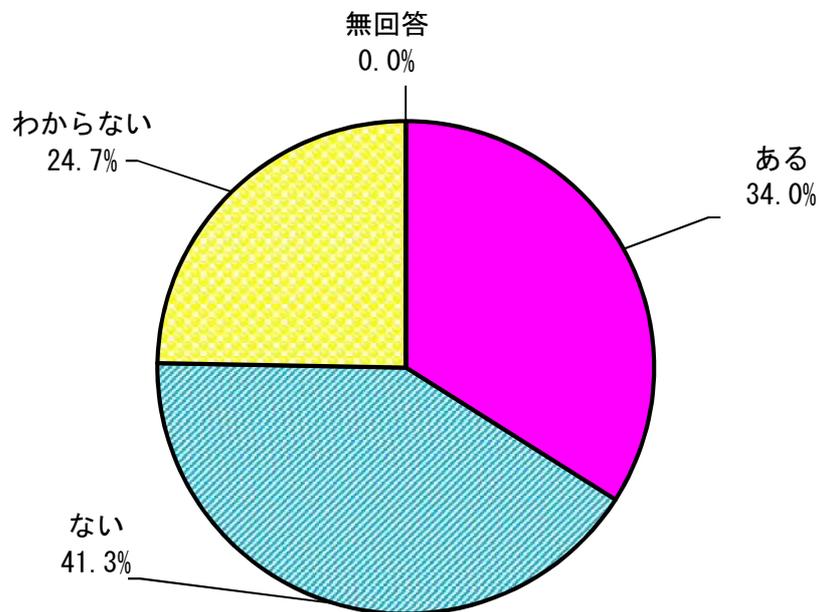
N=15



【Q10はQ8で、フードドライブに参加したことがないと答えた方（「ない」と回答した方）におたずねします。】

Q10 あなたのご家庭に、フードドライブの対象となる食品が余っていたことはありますか。
（選択は1つ）

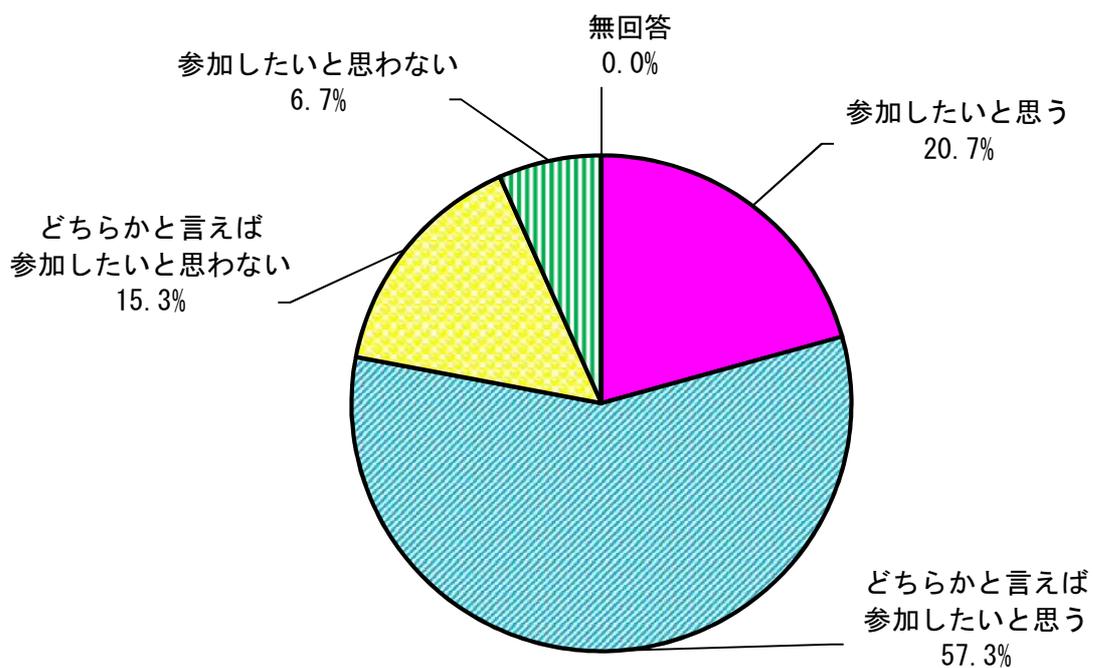
N=441



【Q11はQ10で、フードドライブの対象となる食品が余っていたことがあると答えた方（「ある」と回答した方）におたずねします。】

Q11 あなたは、今後、フードドライブに参加したいと思いますか。（選択は1つ）

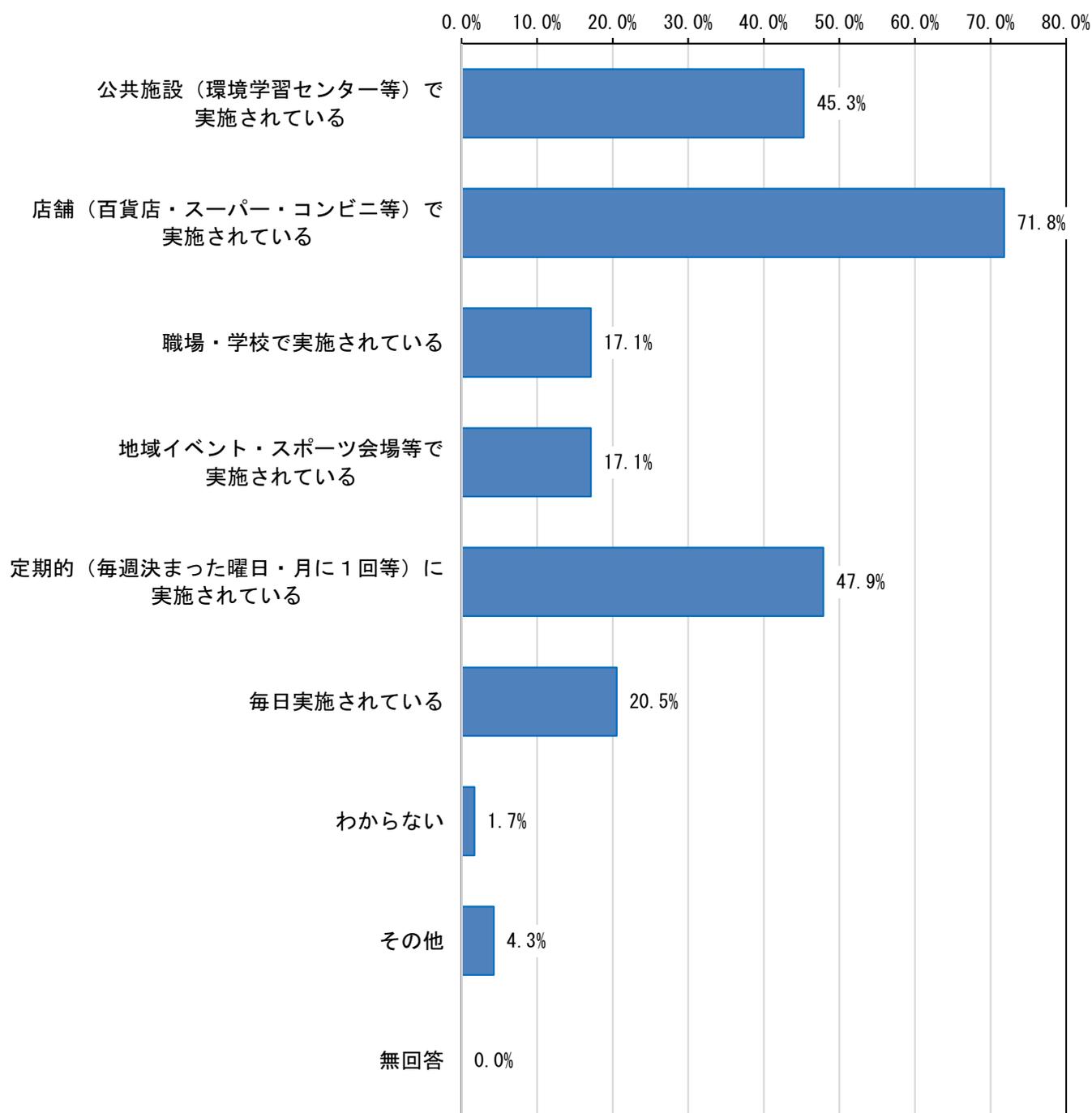
N=150



【Q12はQ11で、フードドライブに参加したいと思うと答えた方（「参加したいと思う」「どちらかといえば参加したいと思う」と回答した方）におたずねします。】

Q12 あなたは、どのようなフードドライブに参加したいと思いますか。（選択はいくつでも）

N=117



【すべての方におたずねします。】

＜食品ロス削減月間について＞

令和元年10月に「食品ロスの削減の推進に関する法律（略称 食品ロス削減推進法）」が施行され、10月が食品ロス削減月間、10月30日が食品ロス削減の日と定められました。

本市では、10月の食品ロス削減月間に合わせ、食品ロス削減に関する企画を毎年行っています。

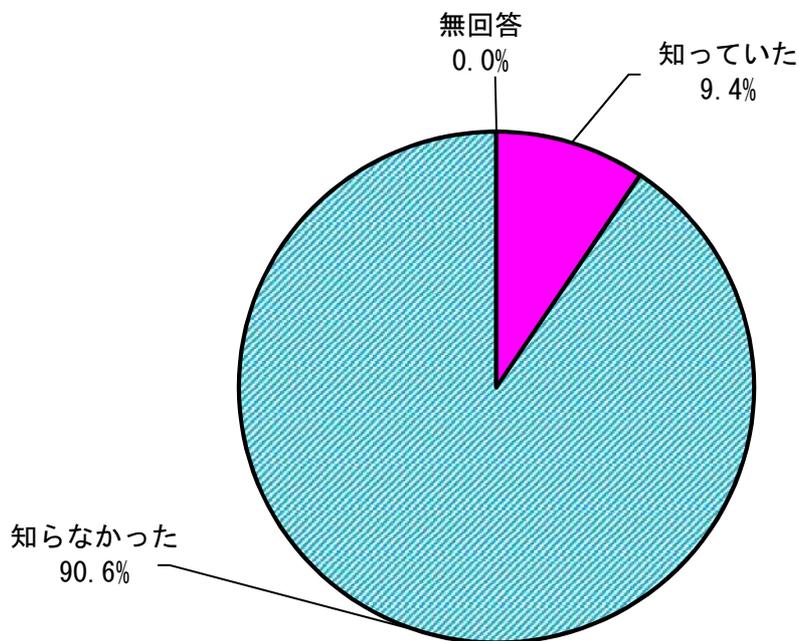
【参考資料】

関連リンク：「食品ロス」とは？（名古屋市公式ウェブサイト）

<https://www.city.nagoya.jp/kankyo/page/0000085351.html>

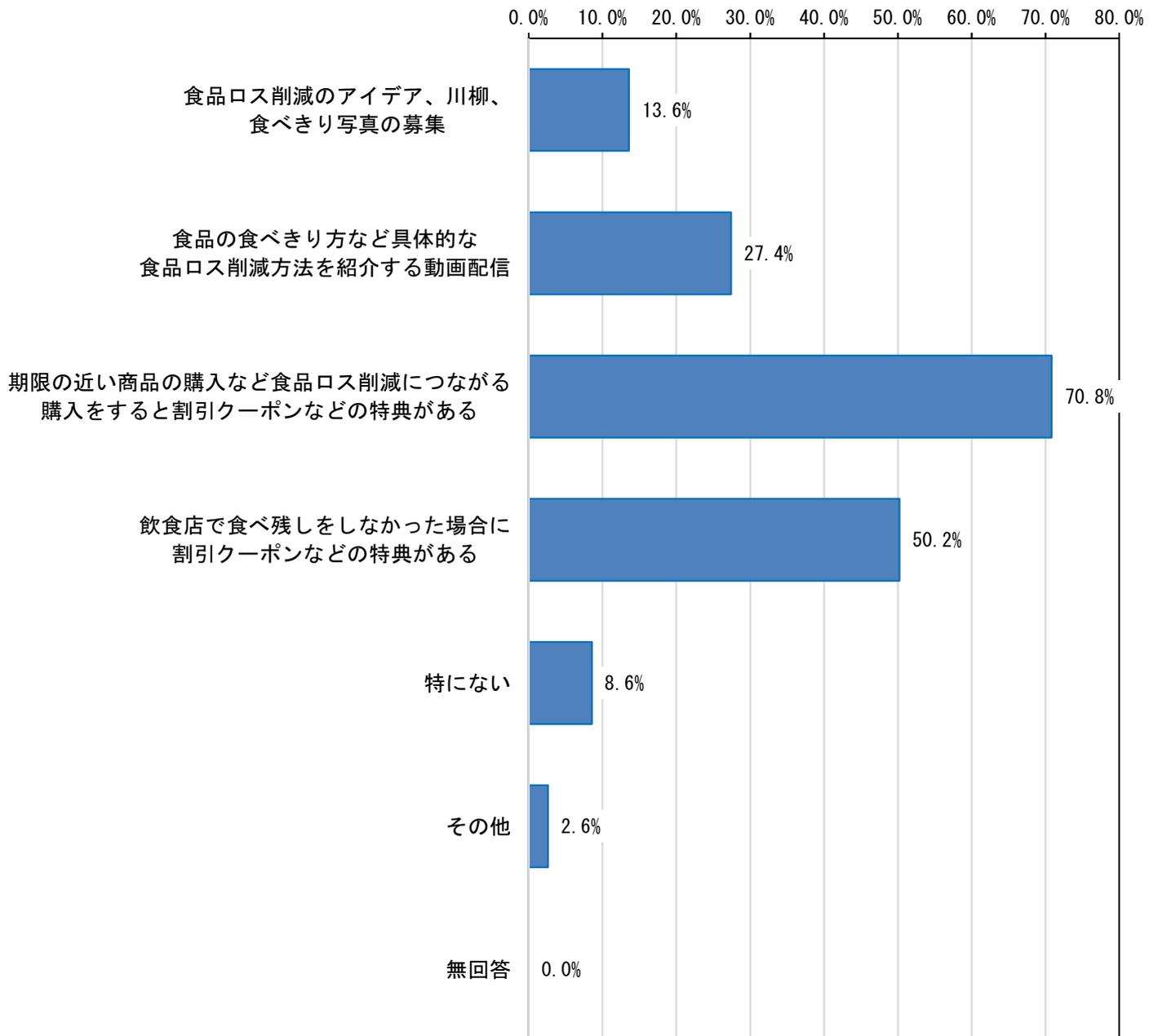
Q13 【※必須】あなたは、10月が食品ロス削減月間であることを知っていましたか。
(選択は1つ)

N=456



Q14【※必須】あなたが興味のある食品ロス削減に関する企画は何ですか。
(選択はいくつでも)

N = 456



Q15 食品ロス削減について、ご意見があればご記入ください。(自由意見)

N=187

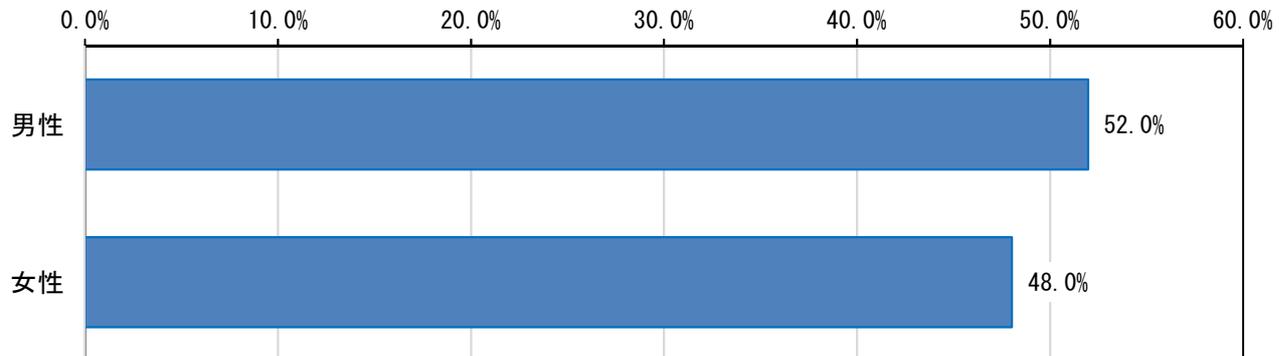
- ・ 理解はしているものの、積極的には協力できていない状況です。食べ残しをしないよう心掛けたり、適切な量の買い物をするよう努めていきたい。
- ・ フードドライブの考え方は素晴らしいと思うが、交通費をかけてまで参加したいとまでは思わない。もっと気軽に持参できる場所で開催してほしい。
- ・ 我が家では家庭から食品ロスができることはありません。「もったいない」と教えられてきたからです。消費者のこれからの意識改革はなかなか大変です。しかし、子どもを教育することで未来が変わると思います。
- ・ 家庭でできる限り食品ロスを減らそうとしておりますが、外食するとご飯など残してしまうことが多いので量を選べるもしくは、気軽に残したものを持ち帰ることができるようなお店やシステムがあると良いと思います。
- ・ 賞味期限、消費期限の近い食品を割引する販売を促進するようにしてほしい。

ほか

■属性集計

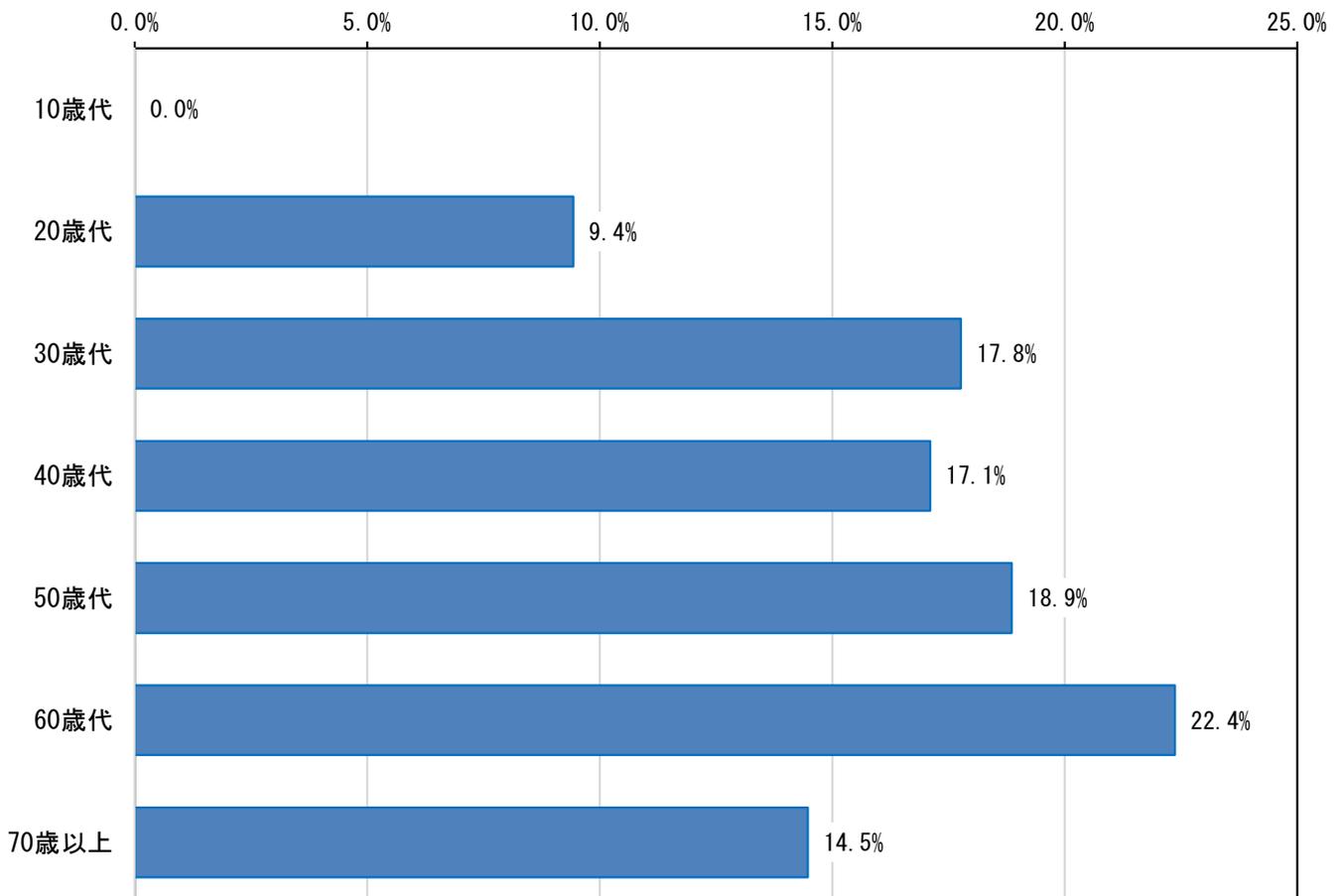
性別

	全体	男性	女性
%	100.0%	52.0%	48.0%
回答者数	456	237	219



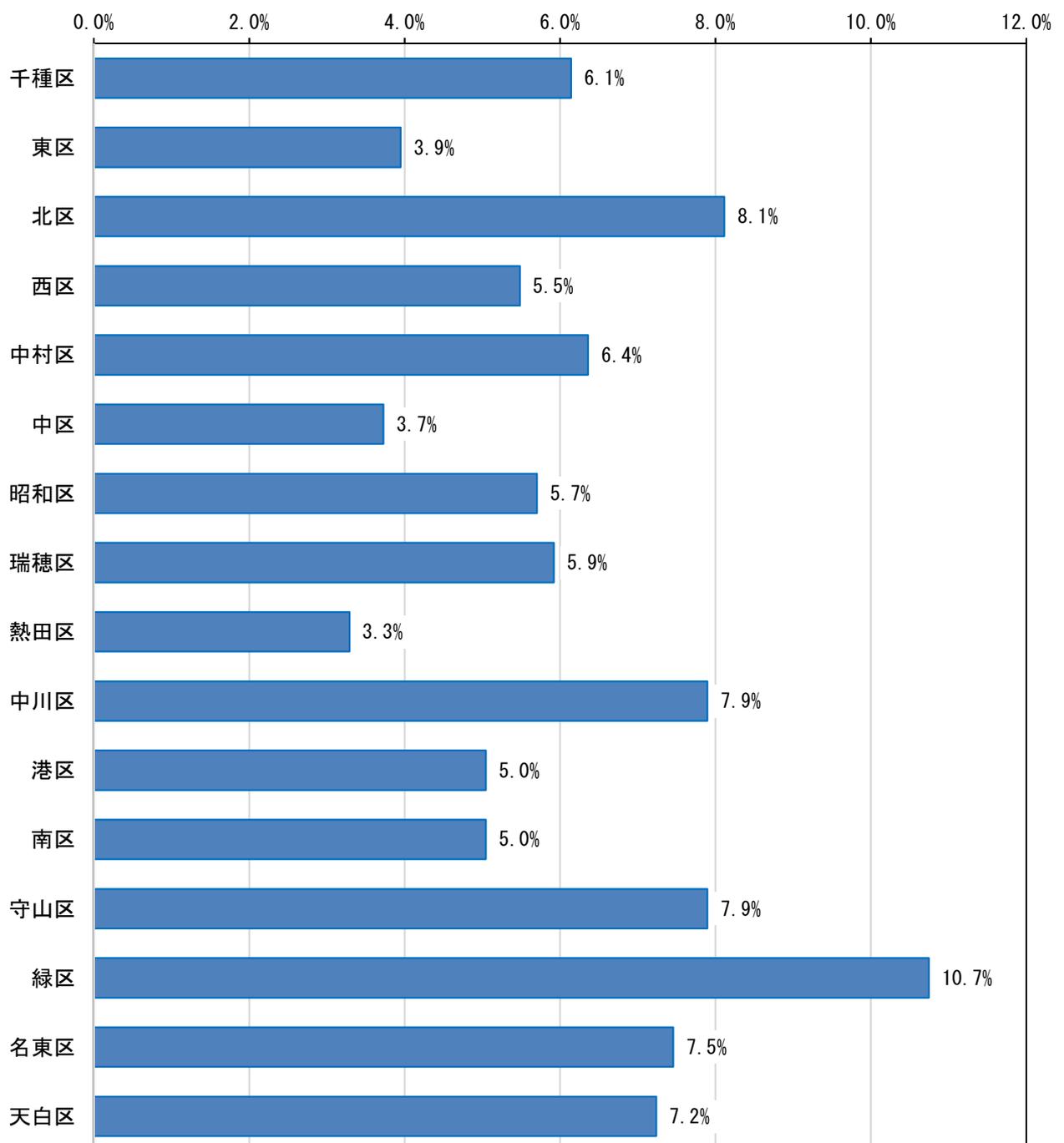
年代

	全体	10歳代	20歳代	30歳代	40歳代	50歳代	60歳代	70歳以上
%	100.0%	0.0%	9.4%	17.8%	17.1%	18.9%	22.4%	14.5%
回答者数	456	0	43	81	78	86	102	66



居住区

	全体	千種区	東区	北区	西区	中村区	中区
%	100.0%	6.1%	3.9%	8.1%	5.5%	6.4%	3.7%
回答者数	456	28	18	37	25	29	17
		昭和区	瑞穂区	熱田区	中川区	港区	南区
		5.7%	5.9%	3.3%	7.9%	5.0%	5.0%
		26	27	15	36	23	23
		守山区	緑区	名東区	天白区		
		7.9%	10.7%	7.5%	7.2%		
		36	49	34	33		



【参考資料】

添付：フードドライブチラシ

家庭に手つかずの食品がある方は…



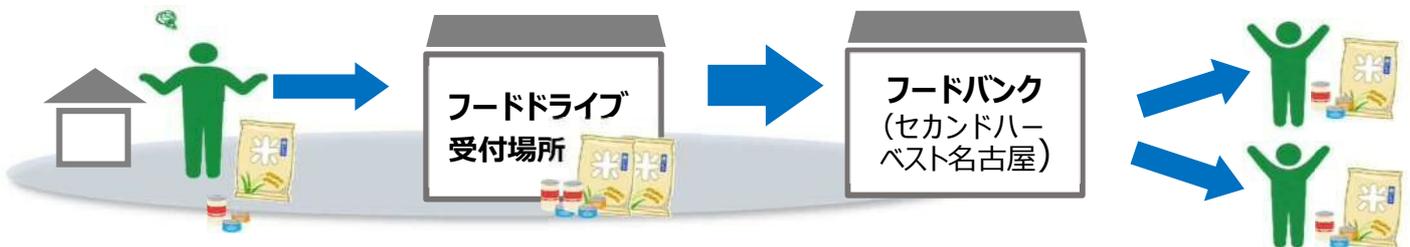
「フードドライブ」にご参加ください！

フードドライブとは？

家庭にある手つかず食品を持ち寄り、まとめてフードバンク活動団体や地域の福祉施設などに寄付する活動です。

名古屋市フードドライブ

“もったいない”



お持ちいただきたい食品

賞味期限が1か月以上先の常温で長期保管が可能なもの

- ◎ お米（白米・玄米等）※¹
- ◎ 缶詰（肉・魚・野菜・果物 など）
- ◎ インスタント・レトルト食品
- ◎ 乾物（パスタ・うどん・そば など）
- ◎ 調味料（食用油・醤油・味噌・砂糖 など）
- ギフト（お歳暮・お中元等などの余り）、お菓子、乳幼児用食品（粉ミルク・離乳食など）、飲料※²

※¹ 白米の場合、精米時期から半年以内のもの、玄米の場合、精米時期から2年以内のものは賞味期限の記載がなくても可

※² アルコール飲料を除く

お受けできない食品

- ・賞味期限が明記されていない、1か月を切っている又は切れているもの
- ・開封されているもの
- ・生鮮食品（肉類・魚介類・生野菜 など）
- ・冷蔵・冷凍食品
- ・びん詰め食品
- ・包装や外装を移し替えているもの（お米は移し替えていても可）

※ お持ちいただいた食品は、受取りの際に上記の種類や条件等について確認させていただきます。状態によってはお持ち帰りいただく場合がありますので、あらかじめご了承ください。

名古屋市

SUSTAINABLE
DEVELOPMENT
GOALS

11 気候変動
の脅威を
減らす



12 つくる責任
と消費



○名古屋市フードドライブの受付場所

【開催日時】 **毎月8日から14日まで（休館日*を除く）**

午前9時30分～午後5時

*休館日 ① 環境学習センター:毎週月曜日（休日・祝日の場合はその翌平日）
② なごや生物多様性センター:土日・休日・祝日

【受付場所①】

環境学習センター（エコパルなごや）

中区栄一丁目23-13 伏見ライフプラザ13階

電話 (052) 223-1066

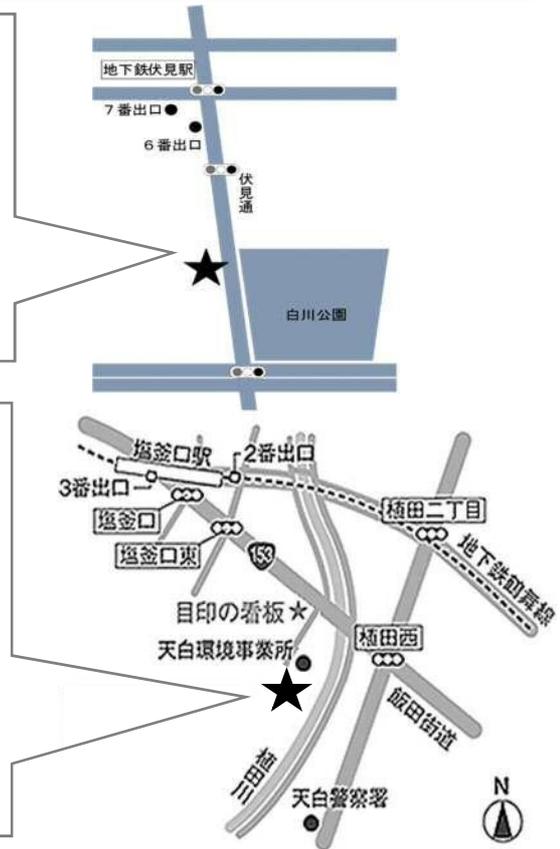
- ・中消防署があるビルの13階です。
- ・公共交通機関をご利用ください。地下鉄「伏見」⑥番出口から南へ徒歩5分

【受付場所②】

なごや生物多様性センター

天白区元八事五丁目230 電話 (052) 831-8104

- ・自動車:中央分離帯があるため、東行きの道路（塩釜口方面）から右折して入ることはできません。植田西交差点から西へ進み、植田橋を渡ってすぐの交差点を左折してください。
- ・地下鉄鶴舞線「塩釜口」②番又は③番出口から南東方向へ徒歩5分（天白環境事業所の南隣）



○市内の民間団体などでもフードドライブが実施されています。ご利用ください。

フードドライブを実施してみませんか？

- ✓ 地域・学校・職場・イベントなどで、フードドライブを実施することができます。
- ✓ フードドライブの実施は、「なごやSDGsグリーンパートナーズ」認定制度の評価項目の一つです。

食品ロスを減らそう！



シャチのジュンちゃん

【問合せ先】名古屋市環境局ごみ減量部資源化推進室

電話 (052) 972-2379

ファックス (052) 972-4133

市公式ウェブサイトはこちら！

